

みずほCustomer Desk Report 2016/10/28 号(As of 2016/10/27)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値	104.58
	GBP/USD	AUD/USD				
TKY 9:00AM	104.57	1.0909	114.06	0.9934	1.2235	0.7647
SYD-NY High	105.35	1.0942	114.86	0.9951	1.2273	0.7652
SYD-NY Low	104.30	1.0883	113.72	0.9912	1.2149	0.7582
NY 5:00 PM	105.28	1.0896	114.68	0.9935	1.2162	0.7589
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	9.845/10.205	25RR	1.150	Yen Call Over		
NY DOW	18,169.68	▲ 29.65	債券市場	日本2年債	-0.2590	▲ 1.0bp
NASDAQ	5,215.98	▲ 34.29		日本10年債	-0.0520	1.2bp
S&P	2,133.04	▲ 6.39		米国2年債	0.8863	1.8bp
日経平均	17,336.42	▲ 55.42		米国5年債	1.3473	4.3bp
TOPIX	1,382.01	▲ 0.69		米国10年債	1.8536	6.1bp
シカゴ日経先物	17,475	90.00		独10年債	0.1700	8.5bp
ロンドンFT	6,986.57	28.48		英10年債	1.2530	10.1bp
DAX	10,717.08	7.40		豪10年債	2.3170	5.3bp
ハンセン指数	23,132.35	▲ 193.08	為替市況	USD/CNH	6.7952	0.0105
上海総合	3,112.35	▲ 3.96		ドルインデックス	98.91	0.28
USDJPY 3M Vol	10.60	0.44%	商品市況	CRB指数	190.047	1.33
USDJPY 6M Vol	10.75	0.28%		NY金	1,269.500	2.90
EURJPY 3M Vol	10.70	0.22%		WTI	49.720	0.54
EURJPY 6M Vol	11.12	0.12%		Dubai Spot	46.55	0.39

東京	東京時間のドル円は104.57レベルでオープン。朝方は前日海外時間の流れを引継いだことに加え、スポット応答日が月末にあたることもあって実需によるドル買い期待もあったとみられ、ドル円は104.69の東京時間高値をつける。その後、黒田日銀総裁が国会にて「(超長期国債金利が)上がっても下げなければならないとは思わない」と超長期国債については金利が上昇することを容認する発言を行ったことや、前日比プラス圏まで上昇していた日経平均株価がマイナスイ圏に沈んだことなどが重石となり、午後入ると安値104.30をつけた。但し、安値をつけた後は小幅ながら反発して104円台半ばを中心としたレンジ推移となり、結局104.62レベルで海外に渡った。(東京時間15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は104.62レベルでオープン。本邦投資家の外債投資拡大観測等を背景に104.76まで上昇し、104.72レベルでNYに渡った。ロンドンドルは、1.2221レベルでオープン。英貿易相が、EU離脱交渉で銀行ハブ制度を維持することは困難であると発言したこと等を嫌気し、1.22ちょうどまで軟調推移するも、英第3四半期GDP速報値が、前期比+0.5%と、予想の+0.3%を上回ると、反転。1.2273まで上昇し、1.2246レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.0908レベルでオープン。独系大手銀の第3四半期決算が予想外の黒字となり、独自動車大手の第3四半期決算も黒字を確保した上で通期売上高予想を上方修正したことから欧州株が堅調に推移し、ユーロ買い優勢の地合いとなった。さらにEU・カナダの貿易協定についてベルギーが合意に至ったことが伝わると1.0929まで買われ、1.0928レベルでNYに渡った。(ロンドン・ルアリ 00531 444 179 山本)
ニューヨーク	ドル円は104.72レベルでNYオープン。カーニー・英中銀総裁の発言を背景に欧州債利回りが連日全面高となったことや、金利先物市場における米FOMC12月会合での利上げ予想確率が70%を超えたこともドル買い要因となりドル円は7月未ぶりに105円台まで上昇。105.00を上抜けすると一段高となり、高値105.35をつけた。朝方発表された米9月耐久財受注(前月比)は予想を下回ったが、前回値が上方修正されたことや、OPEC会合は供給量を2-4%削減するかもしれないとの報道にWTI原油先物が一時50ドル台を回復、欧州大手銀の堅調な決算結果を受けてリスクセンチが改善したこともサポート材料となり、ドル円は105.20付近での底堅い推移が続き、105.28レベルで海外市場に渡った。一方ユーロドルは欧州金利上昇に1.0928レベルでNYオープン。ロンドン時間の堅調な推移を引き継ぎ一時1.0942まで上昇するが、米10年債利回りの上昇や、ユーロポンドの下落を受けて安値の1.0883を付け、1.0896レベルで海外市場に渡った。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断なさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:伊藤・坂本

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
10月27日	8:50	日 対外対内証券投資	-	-
	17:30	英 GDP(前期比/前年比)・一次速報	3Q 0.5%/2.3%	0.3%/2.1%
	21:30	米 耐久財受注(前月比)・速報	9月 -0.1%	0.0%
	21:30	米 耐久財受注(除輸送用機器・前月比)・速報	9月 0.2%	0.2%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	- 258K	256K

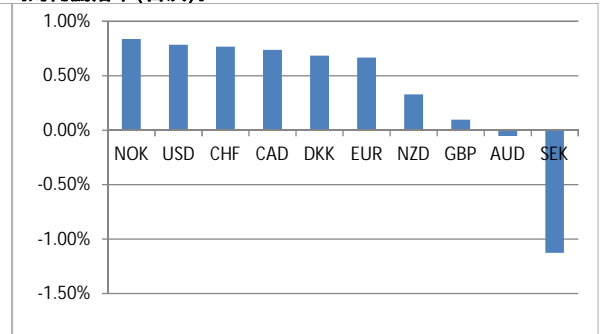
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
10月28日	8:30	日 失業率/有効求人倍率	9月 3.1%/1.38	3.1%/1.37
	8:30	日 全国CPI/コアCPI/コアコアCPI(前年比)	9月 -0.5%/-0.5%/0.1%	-0.5%/-0.5%/0.2%
	8:30	日 東京CPI/コアCPI/コアコアCPI(前年比)	10月 -0.4%/-0.5%/-0.1%	-0.5%/-0.5%/-0.1%
	18:00	欧 消費者信頼感・確報	10月 -8.0	-8.0
	21:00	独 CPI(前月比/前年比)・速報	10月 0.2%/0.8%	0.1%/0.7%
	21:00	独 EU基準CPI(前月比/前年比)・速報	10月 0.1%/0.7%	0.0%/0.5%
	21:30	米 GDP(前期比/前年比)・一次速報	3Q 2.6%	1.4%
	21:30	米 個人消費	3Q 2.6%	4.3%
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・確報	10月 88.2	87.9

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	104.60 - 106.00	1.0850-1.0950	113.60-115.10

【マーケットインプレッション】

昨日の海外市場でのドル/円は大幅に上伸した。欧州時間にて104円台後半で推移していたドル/円は、北米時間に入り米10年債利回りが約5か月ぶりの高水準まで上昇すると、ドル/円も連られる形で一時105.35まで値を上げる等、約3か月ぶりに105円台を回復する展開となった。英GDP(7月～9月)速報値が市場予想を上回り追加緩和観測が後退したことから英国債が売られ、欧米債にも幅広く売りが入り利回りが上昇したことや、米耐久財受注の前月分が上方修正される等、本日発表予定の米GDP速報値への期待感が高まったことなどがドル/円を下支える格好となった。本日のドル/円は揉みあい相場を予想。米国経済の底堅さが意識され米年内利上げ観測が拡大する中、ドル買い優勢の地合いが続く展開が予想されるも、久しぶりに105円台を回復したことから利合いの売りや輸出企業の動きも予想され売り圧力が相応に出てきそう。前述の通り本日は米GDP速報値の発表も予定されておりその結果に振られる展開に注意したい。